

「まちライブラリー」の取組み とその一例としての 「MUFG PARK LIBRARY棟」について

第206回aacaフォーラム 「街とアートが織りなす出会いの場」その5



第206回aacaフォーラムのご案内

「街とアートが織りなす出会いの場」その5

「まちライブラリー」の取組みとその一例としての「MUFG PARK LIBRARY棟」について

一般社団法人 日本建築美術工芸協会
会長 東條隆郎
フォーラム委員長 萩尾昌則

拝啓 皆様益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当協会の活動にご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

第206回aacaフォーラムは、第205回に引き続き街に繰り出します！

次世代を担う子どもたちの「体験格差」が社会的課題として顕著になっています。私たちを含む様々な社会的活動はその解決を意識する必要に迫られています。本を巡る環境整備もそのひとつです。

今回のaacaフォーラムは、「まちライブラリー」の提唱者の 磯井 純充 さんに、「まちライブラリー」の取組とそれによる地域活性化についてご説明いただき、そのひとつとして形となった「MUFG PARK LIBRARY棟」を設計・監理者の三菱地所設計担当者より案内していただきます。

「まちライブラリー」とは、まちの中のカフェ、ギャラリー、シェアオフィス、お寺、病院などに本棚を設置し、そこにメッセージを付けた本を持ち寄り交換しながらまちのコミュニティを作っていくという活動です。そこでは、互い同士で学びあい、気づきあうワークショップやイベントが開催されています。

本を媒介とした子どもたちの未来づくりや地域活性化の取組を知る今回の機会は、きっと参加者の皆さんにとって新たな気づきを得る契機となることでしょう。

敬具

記

「講師」 講師①:まちライブラリー提唱者 磯井 純充

講師②:MUFG PARK LIBRARY棟 設計・監理 三菱地所設計 担当者

「会場」 MUFG PARK LIBRARY棟 (東京都西東京市柳沢 4-4-40)

<https://www.mufgpark.mufg.jp/library/>

「日時」 2024年8月8日(木) 受付開始15:15 講演・視察15:30~17:00

「定員」 30名(定員になり次第締め切ります。)(ネット配信は行いません。)

「会費」 aaca会員2,000円 一般2,500円

※当日会費の受付は行いませんので下記銀行口座にお振込みください。

三井住友銀行 三田通支店 普通8089627

一般社団法人 日本建築美術工芸協会 シンポジウム

※キャンセルの場合、参加費の返金ができませんのでご了承ください。

「申込」 参加ご希望の方は下記URLから8月1日(木)までに申込手続きを行ってください。

右記QRコード読取でも申込用Webページにアクセスできます。

<https://ws.formzu.net/dist/S698117219/>

「問合せ」 フォーラム委員会 koho@aacajp.com



磯井 純充 (いそい・よしみつ) 一般社団法人まちライブラリー代表理事

1958年大阪市生まれ。一般社団法人まちライブラリー代表理事。1981年、森ビル株式会社に入社し「アーク都市塾」「六本木アカデミーヒルズ」などの文化・教育事業に従事。取締役広報室長などを歴任。2011年に「まち塾@まちライブラリー」を開始。以降、「まちライブラリー」の提唱者として活動の運営・サポートを行う。2024年、第24回図書館サポートフォーラム賞を受賞。著書に、『マイクロ・ライブラリー図鑑』(まちライブラリー、2014)『本で人をつなぐ まちライブラリーのつくりかた』(学芸出版社、2015)『ブックフェスタ 本の磁力で地域を変える』(共著、まちライブラリー、2021)『「まちライブラリー」の研究「個」が主役になれる社会的資本づくり』(みすず書房、2024)などがある。

